



九州大学統合移転事業について

概要

平成24年度概算要求において、本学が要望していた伊都キャンパス用地の未取得部分の購入費については計上されましたが、理学系の施設整備費は計上されませんでした。このことから、平成26年度に予定していた理学部、理学府などの移転が遅れることとなりました。本学としては、引き続き国に要望を行うなど早期の移転実現に向けて努力していくこととしています。

背景

本学の統合移転事業については、専攻教育と全学共通教育の分離、施設の老朽化・狭隘化、箱崎地区における航空機騒音等の課題を解消し、時代の変化に応じて自律的に変革し、活力を維持し続ける開かれた大学の構築及びそれに相応しい研究・教育拠点の創造を目的として行われている事業です。

平成3年度に国の承認を得て、平成10年度から福岡市土地開発公社が先行取得した用地の購入を開始し、平成14年度から施設整備を着工しました。

平成17年度に工学系（第Ⅰステージ）及び、平成21年度に全学教育等（第Ⅱステージ）の移転が完了し、引き続き、理学系・文系・農学系（第Ⅲステージ：平成24～31年度）の移転実施に向けて、理学系の施設整備費の要望を行ってまいりました。

内容

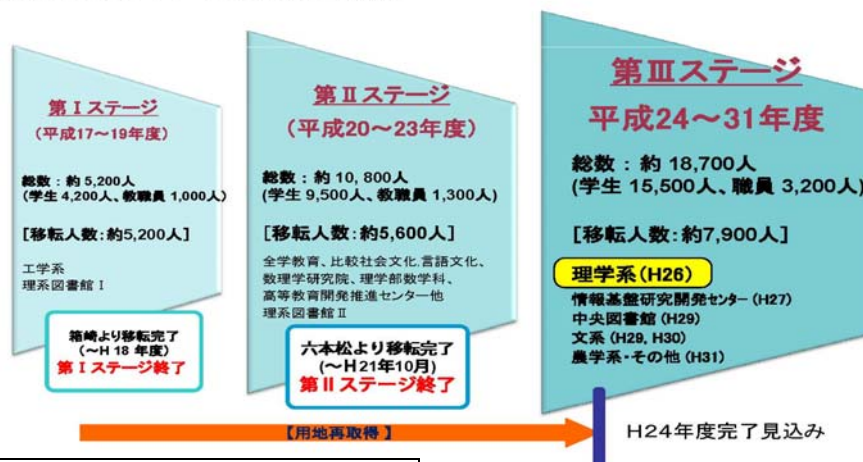
平成24年度概算要求における九州大学統合移転事業についての国の方針は以下のとおりです。

- ①伊都キャンパスの用地未取得部分の購入については、平成24年度概算要求を行う。
- ②九州大学が要望する伊都キャンパスへの統合移転事業の継続的な実施については、必要と認めるところであるが、平成24年度の理学系総合研究棟の整備着手については、東日本大震災への対応や、箱崎キャンパス等の処分の見通しが明らかになっていないことなどから見合わせる。

今後の展開

本学としては、箱崎キャンパス等の処分計画を具体化するとともに、引き続き国に要望を行うなど早期の移転実現に向けて努力していくこととしています。

(参考) 移転スケジュールと進捗状況



【お問い合わせ】

企画部統合移転推進課長 西 哲郎
電話：092-802-2440
FAX：092-802-2439
Mail：kititenkacho@jimukyushu-u.ac.jp